

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	2か月に一度行っている運営推進会議時、御家族同士で顔をあわせられると、お互いの親御様の話をされたり雑談は、交わされるがなかなか利用者様全員の御家族には、集まっていたけていない。	なるべくたくさんの御家族が、一同に話し話合える機会を提供する。	運営推進会議は、平日の午後におこなっているため、参加しにくい御家族のために、家族親睦会のようなものを、週末に開催できるよう工夫をします。	6ヶ月
2	1	キャビックの施設としての理念はあり、職員も理解しているが、すいとハンズ物集女としての、理念がない。	すいとハンズ物集女らしい、物集女独自の理念づくりを行う。	職員だけでなく、利用者様や御家族にも親しんでいただけるような理念づくりに努めます。	2ヶ月
3	54	居室に馴染みのものが少ない利用者様もあり、グループホーム入居前の自宅におられた生活の場の延長とは、思っておられないほうが多い。	居室を自分の家の自室だと思い、くつろいでもらう。	御家族の協力も得て、馴染みの再確認と御家族の面会時には、居室で寛いで頂ける雰囲気作りと言葉かけを行います。	3ヶ月
4	49	日常的な外出支援については、個別外出は十分に出来ているとは言えない。利用者様全員での外出は企画した外食などには、行けている。	地域の方に気軽に声を掛けて頂き、散歩を御一緒するなど、地域密着型の施設として、馴染みの関係を作りたい。	外出時地域の方の支援を受けたり、さりげない交流が出来るようホームの情報を発信し(言葉かけや、ポスター・HPより)きさくに声をかけていただけるよう、地域交流を活発化させます。	3ヶ月
5	6	身体拘束については、ホーム全体で深く学習しているちは、言えない。	身体だけでなく、言葉による拘束など「拘束」についての知識を得る。	職員の研修企画の中でも、身体拘束について勉強したいという声があったため看護師とも相談して、学習の企画を行い、実行します。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。